

愛知県公立大学法人第四期中期目標

目次

前文

第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

第4 財務内容の改善に関する目標

第5 教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

第6 その他業務運営に関する目標

別表

前文

（県が法人を設立する目的）

県が愛知県公立大学法人（以下「法人」という。）を設立する目的は、知の拠点として、広く知識を授けるとともに、深く学芸を教授研究し、地域にとって有為な人材の育成を図り、教育研究の成果を県民・地域に還元することを通じ、県民の生活及び文化の向上に貢献することである。

（法人化後の取組）

法人は、この目的の実現に向けて、愛知県立大学と愛知県立芸術大学という性質の異なる2つの大学を設置・運営し、平成19年の法人設立から現在に至るまで、様々な取組を進めてきた。第一期中期目標期間には、愛知県立大学と愛知県立看護大学の統合、学部・学科の再編により、基本的な教育研究体制の整備を進め、第二期中期目標期間には、愛知県立大学におけるグローバル人材の育成、愛知県立芸術大学における文化財保存修復研究所の開設など、教育研究の質を向上・深化させる多くの取組を積み上げた。さらに、第三期中期目標期間には、愛知県立大学における学部や分野の枠を超えた教育研究体制の整備、愛知県立芸術大学における自治体、他大学、産業界との連携や地域貢献の取組の一層の推進など、地域を担う人材の育成や地域への貢献を推進した。

また、理事長、学長のリーダーシップの下、新型コロナウイルス感染症の影響による教育研究環境の変化への対応や学生への支援、大学及び地域社会の発展のための意欲的な取組を数多く進めてきた。

（大学を取り巻く状況と課題）

一方で、大学を取り巻く状況は、18歳人口の減少による大学間競争の激化、社会のグローバル化、AIなどのデジタル技術革新の急速な進展、SDGsへの取組の必要性、女性の社会進出やキャリア形成の促進、地域社会が大学に求める役割の増加など、常に変化を続けている。

また、国においても、デジタル化や脱炭素等、世界的課題への対応を迫られる中、デジタル分野等の特定成長分野への学部再編の支援強化を行っており、それに伴い、大学も社会のニーズに合わせた改革を求められている状況にある。

こうした中、大学としては、特色のある教育研究を推進し独自性を打ち出すことにより、優秀な学生を確保し、行政、企業、地域社会、他大学との連携強化により外部資金の獲得を促進するなど、将来を見据えた大学の経営戦略を掲げるとともに、これまでの枠組みに捉われない教育研究を一層推進することに

より、次々と生まれる新たな課題を解決し、社会のニーズに対応できるような人材を育成する必要がある。

また、様々な社会課題の解決や地域住民・地元企業のニーズに応えるため、これまで以上の地域連携・貢献に取り組む必要がある。

さらに、ジブリパークやアジア競技大会、リニア中央新幹線など数多くのビックプロジェクトを進め、地域の更なる発展につなげていくとともに、これらを最大限活かして、イノベーションを創出する好循環を生み出すことで、日本の成長をリードし続けることを目指す愛知県の施策と連携し、大学の持つ知識や技術を活かして、地域の発展に寄与することが求められている。

このような状況を踏まえて、第四期中期目標期間には、以下の目指すべき方向性を示す。

（第四期における基本的な方向性）

大学を取り巻く環境が常に変化する中で、法人の資源を効果的、効率的に活用し、これまでの枠組みに捉われない教育研究を戦略的に推進することにより、次々と生まれる新たな課題を解決し、社会のニーズに対応できるような人材を育成することを目指す。

また、教育、医療、福祉、多文化共生、情報科学、芸術文化等の多岐にわたる分野で、2大学の特色ある教育研究を推進することにより、地域の課題解決に取り組み、地域の持続的な発展に貢献することを目指す。

このような視点から、第四期中期目標期間は、「社会情勢の多様な変化に対応できる人材を育成し、特色ある教育研究の推進による地域課題の解決に取り組む期間」とする。

（各大学及び法人における方向性）

1 愛知県立大学

愛知県立大学が果たすべき役割は、これまでの枠組みに捉われない教育を推進し、次々と生まれる新たな課題を解決する人材を育成するとともに、教育研究の成果を地域社会に還元し、地域課題の解決に貢献することである。

そのために、以下の取組を推進する。

- ・ 文理横断教育の推進、学部間連携の強化、愛知県立芸術大学との連携強化を実施し、県立大学のリソースを活かした特色ある教育を推進する。
- ・ PBL教育（課題解決型教育）、アントレプレナーシップ教育（起業家教育：起業に限らず、新事業創出や社会課題解決等、新たな価値を生み出す姿勢や発想・能力等を身に着ける教育）などの実践的な教育を推進し、地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。
- ・ 急速に変化する社会情勢や地域社会のニーズに的確に対応するため、必要に応じて学部等の見直しを図る。

2 愛知県立芸術大学

愛知県立芸術大学が果たすべき役割は、芸術文化に携わる優れた人材（芸術家、研究者、教育者その他芸術を支える担い手）を育成するとともに、地域社会や他の自治体等との多様な連携を更に強化し、芸術文化の発展と地域課題の解決に貢献することである。

そのために、以下の取組を推進する。

- ・ 特色ある高度な専門・実技教育や愛知県立大学との連携強化を実施し、質の高い芸術教育や独創的な研究を推進する。
- ・ 大学の活動情報の積極的な発信による戦略的広報活動により、大学のブランドや知名度を向上させる。

- ・ 地域のニーズに芸術面から貢献できる教育研究やアントレプレナーシップ教育を推進し、地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。

3 愛知県公立大学法人

愛知県公立大学法人が果たすべき役割は、理事長、学長のリーダーシップのもと、大学の強みや特色を生かした戦略的な法人・大学運営を行うとともに、法人や2大学に求められる役割や期待の変化を的確に把握し、変化に対応できるよう、教育研究組織・人員体制の見直しを図ることである。

そのために、以下の取組を推進する。

- ・ 愛知県立大学と愛知県立芸術大学の連携を一層促進し、大学の垣根を超えた教育研究や地域貢献を推進する。
- ・ D Xの推進による効率化や組織・業務の見直しなどを推進し、より一層の事務の効率化・合理化を図る。
- ・ 大学の教育研究、社会貢献（地域貢献）の成果や業務運営等の情報を戦略的に発信し、法人及び2大学の社会的存在感及び信頼感を一層向上させる。

第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

1 中期目標の期間

令和7年4月1日から令和13年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究上の基本組織

この中期目標を達成するため、別表に掲げる大学、学部、研究科を置く。

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

1 愛知県立大学

(1) 教育に関する目標

ア 人材育成及び教育内容に関する目標

- ・ 文系理系の枠組みや学部の垣根を超えた教育、P B L教育などの実践的な教育を推進し、自ら課題を発見し、課題解決のために積極的に行動する能力を備えた、愛知の未来をリードする優れた人材を育成する。
- ・ 生成A Iなどの最先端のデジタル技術を活用し、社会に新しい価値を創造する人材を育成する。
- ・ 海外大学との交流、外国語による教育の充実を図るとともに、学生に対する多様な留学プログラムの提供、留学生受入の拡充などを行うことにより、グローバルな視点を持って国際社会や地域社会で活躍できる人材を育成する。
- ・ アントレプレナーシップ教育を一層推進し、斬新で革新的な発想力や課題解決能力を備えた人材を育成する。
- ・ 急速に変化する社会情勢や地域社会のニーズに的確に対応するため、愛知県立大学のリソース（外国語教育、文理横断・学部間連携教育、愛知県立芸術大学との連携）を活かした特色ある教育を実施する。
- ・ 学修者本位の教育の実現に向け、学修成果の可視化・分析等を踏まえた教育の自己点検・評価

を行い、教育内容や入学者選抜方法等の検証と必要に応じた見直しを行う。

- ・ 多様化するグローバル社会や急速に進展するデジタル社会、少子高齢化など社会の急激な変化に伴う様々な課題を解決できる高度専門職業人や研究者等を育成する。

イ 教育の実施体制等に関する目標

- ・ 大学の強みや特色を生かし、社会動向を踏まえた学部・大学院の各課程における教育を充実させるため、学生定員、教員配置などの検証を行い、必要に応じて学部等の見直しを図る。

ウ 学生への支援に関する目標

- ・ 学生の多様なニーズに応じた学修支援・生活支援・キャリア支援等を実施するとともに、学生の自主的な活動を支援し、学生が安心して意欲的な学習を進めることができるよう、学生生活全般にわたるきめ細やかな支援を行う。

エ 入学者選抜に関する目標

- ・ 多様な個性や能力を持つ優秀な学生を確保するため、入学者選抜の見直しを図るとともに、効果的な入試広報活動を実施する。

(2) 研究に関する目標

- ・ 社会課題の解決に資する研究や研究成果の社会実装に向け、学内外との分野横断型共同研究を推進する。
- ・ 専門的な知見や技術を有する企業、他大学、研究機関など多様な主体と連携した研究を積極的に展開し、外部資金の獲得拡大を図るとともに、イノベーションの実現に向けた研究を推進する。
- ・ 研究成果を地域社会に還元し、地域の課題解決につなげるとともに、この成果を効果的に発信する。

(3) 地域連携・貢献・課題解決に関する目標

- ・ 教育、医療、福祉、多文化共生、情報科学の多岐にわたる分野で、愛知県や他の自治体、他大学、産業界、地域社会等との多様な連携をさらに強化することにより、地域の課題解決に向けた取組を推進し、地域の持続的な発展に貢献する。
- ・ 学びの意欲をもった社会人が今後の社会で必要とされる知識や技術を身につけることができるよう、時代や地域のニーズを踏まえた質の高い教育プログラムを幅広く提供する。
- ・ 大学が有する教育研究資源を活用し、地域のスタートアップ関連の活動を支援することにより、イノベーションの創出を加速させる。
- ・ 大学の活動情報を積極的に発信し、知名度の向上や大学ブランド力の強化に向けた戦略的広報活動を展開する。

2 愛知県立芸術大学

(1) 教育に関する目標

ア 人材育成及び教育内容に関する目標

- ・ 特色ある高度な専門・実技教育を推進するとともに、愛知県立大学と教養教育における連携を推進し、創造性と豊かな感性を併せ持つ、芸術文化に携わる優れた人材（芸術家、研究者、教育者その他芸術を支える担い手）を育成する。
- ・ 世界で活躍できる芸術家や、地域社会等から求められる高い専門性と実践的・創造的な能力を兼ね備えた次代の芸術文化を先導する人材を育成する。

- ・ 大学のグローバル化推進に向け、海外大学・機関等との国際交流を推進するとともに、学生の派遣、留学生の受入、教員や学生の国際的な芸術活動を支援する。
- ・ アントレプレナーシップ教育を一層推進し、斬新で革新的な発想力や課題解決能力を備えた人材を育成する。

イ 教育の実施体制等に関する目標

- ・ 大学の強みや特色を生かし、時代や地域のニーズに対応した教育研究を展開するため、専攻やカリキュラムの見直し、教育内容・方法に関する点検・評価を実施し、教育力の向上を図る。
- ・ 学生が安心・安全な環境で芸術に打ち込むことができるよう、学内施設や設備等の整備・充実を図る。

ウ 学生への支援に関する目標

- ・ 学生の多様なニーズに応じた学修支援・生活支援・キャリア支援等を実施し、学生が安心して意欲的な学習を進めることができるよう、学生生活全般にわたるきめ細やかな支援を行う。

エ 入学者選抜に関する目標

- ・ 芸術活動への意欲が高く、実技の基礎能力を備えた優秀な学生の確保を図るため、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）に基づき、入学者選抜方法の見直しや効果的な入試広報活動を実施する。

(2) 研究に関する目標

- ・ 芸術家集団としての教員による活動や特色ある質の高い研究を推進し、その成果を地域に還元し、課題解決につなげるとともに、国際的にも発信する。
- ・ 専門的な知見や技術を有する企業、他大学、研究機関など多様な主体と連携した研究を積極的に展開し、受託事業の推進や外部資金の獲得拡大を図るとともに、イノベーションの実現に向けた研究を推進する。

(3) 地域連携・貢献・課題解決に関する目標

- ・ 地域文化を担う人材の育成、地域の芸術文化の発展に貢献するため、愛知県や他の自治体、他大学、産業界、地域社会等との多様な連携をさらに強化するとともに、地域の課題解決に取り組む。
- ・ 大学と地域を共に発展させることを目指し、演奏会・展覧会等、教育研究成果の積極的な発信を行い、県民が芸術に親しむ機会の創出に努めるとともに、芸術の力を活用した地域課題の解決に貢献する。
- ・ 大学の活動情報を積極的に発信し、知名度の向上や大学ブランド力の強化に向けた戦略的広報活動を展開する。

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 戦略的な法人・大学運営に関する目標

- ・ 国や社会の動向、設置者である県の施策を的確に把握し、目標を実現するため、理事長、学長のリーダーシップを強く発揮できるガバナンス体制の強化に取り組むとともに、大学の強みや特色を生かし、教育、研究、地域連携・貢献の機能を最大化できるマネジメントのための取組を推進する。

2 2大学連携の推進

- ・ 愛知県立大学と愛知県立芸術大学の連携を一層促進するための企画調整・支援等を実施し、大学の垣根を超えた教育研究や地域貢献を推進する。

3 教育研究組織・人員体制の見直しに関する目標

- ・ 法人及び2大学に求められる役割や期待の変化を的確に把握し、各大学の強み・特色を最大限に生かした効果的な教育研究を展開するため、教育研究組織・人員体制を検証し、必要に応じて見直しを行う。

4 人材の確保・育成に関する目標

- ・ 教育研究活動及び大学運営の質の向上と活性化に向け、中核を担う人材の育成を戦略的に行い、人事諸制度を適切に運用するとともに必要に応じた見直しを行う。
- ・ 全教職員のワーク・ライフ・バランスの取組や多様な働き方を推進するとともに、女性教職員の管理職への登用を推進する。

5 事務の効率化・合理化等に関する目標

- ・ 効率的、機動的な組織運営、教育研究のサポート機能の向上のため、D Xの推進による効率化や組織・業務の見直しなどを推進し、より一層の事務の効率化・合理化を図る。

第4 財務内容の改善に関する目標

- ・ 外部研究資金や寄附金の獲得など自己収入増加に向けた取組を強化するとともに、効率的な経費の執行に努め、安定的な財務運営を実現する。

第5 教育及び研究並びに組織及び運営に対する自己点検・評価及び情報の提供に関する目標

1 評価の活用に関する目標

- ・ 自己点検・自己評価や外部評価等を定期的に行い、評価結果を公表するとともに、教育研究及び業務運営の改善に活用する。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

- ・ 大学の教育研究、社会貢献（地域貢献）の成果や業務運営等の情報を戦略的に発信し、法人及び2大学の社会的存在感及び信頼感を一層向上させる。

第6 その他業務運営に関する目標

1 施設・設備の整備・維持管理及び安全管理に関する目標

- ・ 大学施設の老朽化対策、計画的な維持管理など施設マネジメントを実施するとともに、計画的な施設整備・ICT環境整備に取り組む。
- ・ リスクマネジメントに係る規程等を随時見直すとともに、大災害発生時等の危機的状況における学生・教職員の安全安心の確保と危機管理体制の点検・見直しを行う。

2 法令遵守に関する目標

- ・ 法令等を遵守し、適正な法人運営を行うため、ハラスメント・研究不正等の防止、情報セキュリティ対策等のコンプライアンスの徹底を図るための取組やリスク管理のための内部統制を推進する。

別表（大学、学部、研究科）

・愛知県立大学

学 部	外国語学部 日本文化学部 教育福祉学部 看護学部 情報科学部
研究科	国際文化研究科 人間発達学研究科 看護学研究科 情報科学研究科

・愛知県立芸術大学

学 部	美術学部 音楽学部
研究科	美術研究科 音楽研究科